

たった一度の出会いが、人生の軌道を変える

イ・ウォンジェ

みなさんは、昔の自分に伝えたいことがありますか。私は先週食べた家系ラーメンにチャーシューを追加しなかったことを、今でも後悔しています。でも今日は、後悔の話ではなくて、縁の大切さについて*お話ししたいと思います。

私は、人生は流れ星のようなものだと思います。流れ星が周りの星に影響されて軌道が変わるように、私たちも人生での出会いによって価値観や考え方が少しずつ変わっていくと思います。

私が変わった最初のきっかけは、高校3年生のときでした。グループ活動のとき、たまたま隣の席にいた「J」という学生に話しかけました。とはサッカーという共通の趣味もあって、だんだん仲良くなりました。高校を卒業したあと、Jが私に「一緒にGOPという部隊に志願しよう」と言いました。

GOPというのは、北朝鮮との国境を守る最前線の部隊のことです。いつも緊張感があって、危険もある場所です。昔の私なら、*「絶対イヤだ」と言っていたと思います。でもJの影響で、*大変でも挑戦してみたいと思って、私たちは一緒にGOPに志願しました。1年半の間、そこでさまざまな人と出会って、私は徐々に積極的になっていきました。

二つ目のきっかけは、証明写真を撮りに行ったときでした。そのとき、写真館の店長さんと2時間ほど人生について深く話しました。店長さんは私に「まだ見たことのない世界を、自分の目で感じてみなさい。」と言いました。その言葉を聞いたとき、私はこれまで知らなかった世界に一步踏み出す必要があると強く感じて、日本に留学することを決心しました。日本に来てからは、部活動や旅行を通して、さまざまな人と出会って、文化や価値観を分かち合うことの大切さを感じました。

だから私は、昔の自分にこう伝えたいです。人生での出会いは、自分を大きく成長させてくれる。だからその縁を大切にしなさい。

そして今でも思います。人生という流れ星が、これからどんな縁によって、どこへ向かっていくのか。日本で過ごすこの時間の中でも、もっと多くの人と出会って、その人たちの価値観や考え方を通して、これからも成長していくと思います。

ご清聴ありがとうございました。